



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

令和元年(2019年)
12月5日
木曜日
第218号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp



地域学校協働活動

～ 地域ので学習支援 ～

「しずおか寺子屋」

〈写真：みしま寺子屋（三島市）〉

少子高齢化、地域の教育力の低下などが進む中で、学校が抱える課題が複雑化・多様化しています。このような中、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現が重視されています。この理念の実現に向けて、県教育委員会では、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとしてさまざまな取り組みを組み合わせる地域学校協働活動を推進しています。

「しずおか寺子屋」とは…地域住民や大学生等が支援員となって、小・中学生を対象に放課後等に行う学習支援活動です。



地域学校協働活動とは…

例えば
学びによるまちづくり、
地域課題解決型学習、郷土学習、
放課後子供教室、学習支援活動、
家庭教育支援活動、
学校に対する多様な協力活動、
地域の行事・ボランティア活動
への参画などです。

～地域学校協働活動に参加した人たちの声～

町の“名人”が、優しく丁寧に空手を教えてくれました。自分たちのために何度も学校に来てくれて本当にうれしかったです。

(長泉町「町の名人となかよくなるう」)



子どもたちの声

子どもたちに技を教えるだけでなく、技の歴史や町での取り組み、生涯学習につながる楽しさを伝えることができました。新しい人との出会いによって、今まで自分にはなかった価値観に接する機会にも恵まれました。



地域の方の声

【社会教育課】

～賀茂地域の高等学校大特集～

松崎高等学校

校訓 求めて学び 耐えて鍛えよ

全日制:普通科
全校生徒251人
(令和元年11月1日現在)
人気ドラマ「世界の中心で愛をさけぶ」の舞台にもなりました。

松崎高校には昔から芸術文化があり、卒業生が制作した塑像等の作品が校庭に数多く展示されています。

話題の授業 ～命を「いただきます」～

松崎高校の選択科目「生物基礎演習」の授業では、ニワトリの有精卵を40個ほど仕入れ、ニワトリの胚の発生から成長過程までを観察し、最終的には調理して食しています。生物を学ぶ上で命の重みや、命を食べて生きているということを、深く考える授業となっています。



風通しの良い松高ていチャーズ



さいせ 西豆の子は 西豆で育てる



植松 聖陽 先生
(好きな食べ物:炊き立て玄米御飯)

松崎高校は3中学校(松崎町立松崎中学校、西伊豆町立西伊豆中学校、西伊豆町立賀茂中学校)と連携型中高一貫教育を平成20年から実施しています。交流授業をはじめ、合同の授業研修、部活動交流を年間通して実践しています。

小中学生との交流

交流活動として毎年、連携中学校や小学校の児童生徒と合同美術教室や英語交流「キッズイングリッシュ」を行っています。美術教室では高校生が中学生にアドバイスしながら一緒にデッサンなどを行います。「キッズイングリッシュ」では英語を通して国旗当てクイズや宝探しゲームを行い交流を深めています。子どもの数が少ない地域の中で校種を超えて子ども同士で学び合う貴重な機会となっています。



キッズイングリッシュの様子

注目



町で育てる稲取の教育

稲取高校は東伊豆町にある唯一の高校として、地域との連携を大切にしています。毎年夏休みには稲取小学校の子どもたちに高校生が勉強を教えたり、幼・小・中・高の教員が集まって研修をしたり交流をしています。

稲取高等学校

校訓 誠(まこと)・愛(いつくしみ)・力(つとめる)



地域コミュニティの場「あったかふえ」オープン!

稲取高校被服食物部では、月1回の高校生レストラン「あったかふえ」を運営しています。「あったかふえ」では高校生が季節や地場産産を考慮してレシピを考案し、地域の方に夕食を料理して提供します。場所は東伊豆町消防団第六分団の器具置き場を町が改良した地域おこしの拠点「ダイロクキッチン」です。そこ稲取高校被服食物部がコラボレーションして「あったかふえ」がオープンしました。お越しいただいた地域の方から「定期的に開催してほしい」との声をいただき、今では子どもからお年寄りまでリピーターが続出中です!

全日制:普通科
全校生徒252人
(令和元年11月1日現在)
今年度は陸上部がインターハイ
全国出場しています!

「あったかふえ」を通して生徒が地域の人たちと直接顔を見て触れ合うことで、コミュニケーション能力の育成に繋がっています。

「あったかふえ」で食べた夏野菜カレーがめちゃおいしかったです。次回は12月12日(木)、1月23日(木) 16:00~19:00です!



事務室の服部圭 主事
(好きな食べ物:カレー)

～活動を通して～

地域活動を通じた生徒の声では、「自分たちが作ったものをお客さんが喜んでくれた」「活動について感謝された」「自分一人で持ち場を任された」など自己肯定感の向上が見られました。学校内だけでなく地域の方々から信頼され、地域と繋がりを持つ生徒を育てていくことは稲取高校の使命でもあり、誇りです。

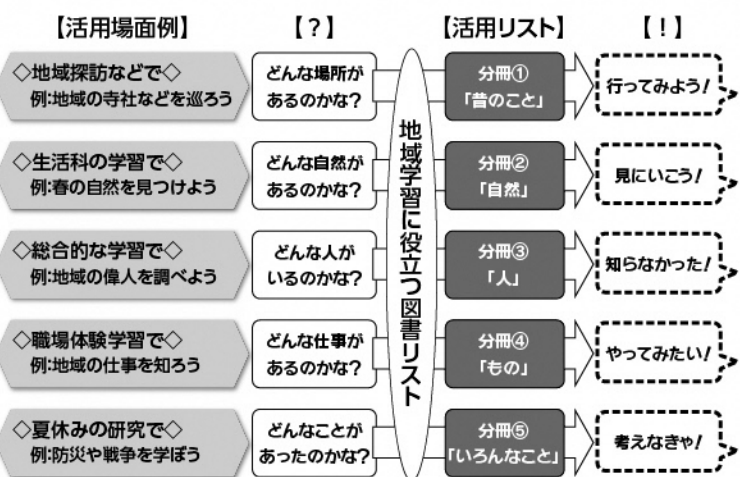


被服食物部顧問 高橋朋子先生
(好きな食べ物:カカオ72%チョコレート)



あったかふえ

「地域学習に役立つ図書リスト」はどのように活用できます



◎ぜひ相談ください
皆さんの調査研究に有効な資料情報の提供や調査のお手伝い(レファレンス)を行っています。図書館職員は資料を扱うプロです。先生方からのレファレンスも常時受け付けていますので、困ったときの相談窓口の一つとして、ぜひご利用ください。
054(262)1245

◎テーマごとのリスト(分冊版)
今回は活用場面ごとにより使いやすいように、5つのテーマに分けたリストも作りしました。テーマは①昔のこと②自然③人④もの⑤いろんなことです。授業や課外活動で子どもたちの疑問を解決する手助けになれば幸いです。
またリストはPDF版とエクセルデータ版がありますので用途に応じてご利用ください。(左下URL参照)

◎5年ぶりに「地域学習に役立つ図書リスト」を改訂しました!
県立中央図書館には、静岡県に関する「地域資料」が約14万冊あります。その中には、各市町の歴史に関するものや、自然・産業に関するものなど、学校での地域学習に役立つ資料もたくさんあります。そうした地域資料を子どもたちの調べ学習に役立ててもらいたいと思い、資料リストを改訂しました。

子どもたちの調べ学習を
お手伝いします!

https://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/contents/t-search/tiiki_kodomo.html

私の学校紹介します

下田高等学校

校訓 至誠・雄飛・献身



全日制:普通科・理数科
定時制:普通科
全校生徒655人
(令和元年11月1日現在)
平成20年度に下田南・北高校の
統合により開校しました!

定時制

定時制の生徒全26人は皆、積極的に行動しています。職員もそのサポートに力を合わせて取り組んでいます。

鈴木 宏野 先生
(好きな食べ物:お寿司)

主体的な生徒会

定時制は、生徒会を中心にさまざまな学校行事を実施しています。一部の企画を全日制と合同で実施、11月の生徒会企画では、ハロウィンや障害物競争、お菓子作りをしました。こうした学校行事は生徒会の生徒たちが自らが主体的に企画、実践しています。

工芸教室

工芸教室では、風車や光る泥団子の制作、陶芸に取り組みます。泥団子づくりではピンの縁を使ってまん丸にしたあと、塗装を重ね塗りすると泥とは思えないほど固く、磨けばきらきらと光る泥団子の完成です!



↑光る泥団子

全日制

海外研修 ~ in NewYork ~

国際感覚の育成を目的とした下田高校独自の研修。希望者を対象に隔年で実施しており、平成30年度は1,2年生の希望者計13人が、平成31年3月21日~28日(6泊8日)でニューヨークを訪れました。参加者は事前研修としてNY出身のALTを交えた語学研修や歴史講座を行います。現地では姉妹校であるタウンゼント・ハリス高校を訪問し、授業に参加しました。また、国連本部内部ツアーへの参加、ニューヨーク市との交流、メトロポリタン美術館やトローパーク(アメリカ最古の図書館)を訪問しました。



柴田 千晴 先生
(好きな食べ物:メロンパン)

現地機関との調整が大変でしたが、無事13人の生徒たちとともに実施することができました。参加した生徒たちからは「今までの価値観がひっくり返された」「いろんなことに対する意識が変わった」「自分から行動することの大切さを学んだ」等の感想が聞かれ、とても充実した時間を過ごせたようです。



賀茂地域に



下田高等学校 南伊豆分校

校訓 大地豊穡



全日制:農業科(園芸)
全校生徒77人(令和元年11月1日現在)
昨年度創立70周年を迎えました!

こども園との交流活動

南伊豆分校では南伊豆認定こども園との交流活動を年間10回程度、実施しています。南伊豆認定こども園へ移行前の幼稚園時代から10年以上交流を続けています。交流では「園芸保育」を実施しており、生徒が園児と一緒に野菜作りに関わり、コミュニケーション能力の向上を育成しています。



育ちあう苗

4月当初は園児との顔合わせから始まり、最初は園児も不安で泣き出してしまう子もいます。生徒も小さい子が苦手な者がありますが、自ら考えた野菜や花に関する遊びなどを行っていきうちに園児との距離も近づいていきます。また、園児に野菜や花について興味を持ってもらうためには、生徒自身が園芸についての知識や、それを伝えるためのアイデアが必要となり、とても重要な活動となっています。こういった活動の成果もあり、南伊豆認定こども園では分校の卒業生2名が保育士となって働いています。



生徒が授業で栽培したトマトがおススメです!現在はメロンの復活に向け奮闘中!!

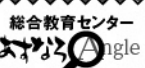
小規模な学校ですが、職員も生徒もみんなが家族のように親しい学校です。

森下 雄平 実習助手
(好きな食べ物:カレー)

土屋 文男 主任技能員
(好きな食べ物:自作のカレー)

南伊豆認定こども園 谷 陽子 園長

高校生と関わることによって、園児たちは土に触れ、人に触れ、思いやりに触れ、成長できました。分校との交流を通して当時は高校生だった子が、保育士として仲間となり、地域の子たちが地域に戻り、次の子どもたちのために働いています。今後も交流を続けていき、園児と生徒の新たな成長や発見を楽しみにしています。



「全国学力・学習状況調査」にみる英語授業改善の視点

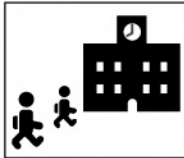
中学校英語で実際に出た問題

海外のある町が、外国人旅行者にも分かりやすいタウン・ガイドを作成するために、「学校」を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)のうち、どちらがよいかウェブサイトで意見を募集しています。

[A]



[B]



- ①どちらかの案を選び、
- ②2つの案について触れながら、
- ③あなたの考えを理由とともに25語以上の英語で書きなさい。



ポイントを押さえ「コミュニケーションを図る資質・能力」の育成へつなげよう!

【詳しくは..】

あすなろHPから『チア・アップコンテンツへ』

この問題から見えた指導上の課題

左記問題は正答率が低く、与えられたテーマについて考えを整理し、文と文とのつながりなどに注意してまとまりのある文章を書けるよう授業改善が必要

ポイント① 言語活動の目的・場面・状況を明確にし、活動への意欲を高める。

目的・場面・状況等に応じて、聞き手・読み手を意識して主体的に活動を行うことができる授業展開

ポイント② 「話して書く」「読んで書く」等の領域を統合した指導を行う。

与えられたテーマについて、「ペアでやり取りして話したことを書く」や「読んだことについて感想や意見などを書く」など、書く活動までのプロセスの中で、複数の領域を統合した活動を行った上で、自分の考えや気持ちを整理して書くことができるようにする。

実践NOTE 433

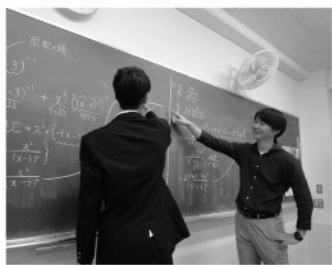
できるようにしたことを
明確にし、自己変容を自覚する

遠江総合高等学校

教諭 井出 悠斗

解けると分かるは違う

授業中に前に出て解いてくれる生徒は多くいますが、解法の説明ができない生徒がほとんどでした。教わった通りに問題を解けるけれど、なぜそうだったのか分かったところまで至っていません。特に、授業を通して何が出来るようになったのかをしっかりと認識していないように感じました。そこで「解決したい課題」「振り返り」を使って何が出来るようになったのかを明確にする方法を考え始めました。



授業中の筆者(右)

解決したい課題の使い方
解決したい課題(最終的にわかってほしい問題や内容を中心に、1つの授業を組み立てます。このとき、「①解決するための材料(基礎)→②解決した

今回の課題

学習前

(1) 2次関数 $y = -x^2 - 22x - 121$ のグラフと x 軸との共有点の個数を求めなさい。

解答 $\frac{22 \pm \sqrt{22^2 - 4 \times (-1) \times (-121)}}{-2} = \frac{22 \pm \sqrt{484 - 484}}{-2} = \frac{22 \pm \sqrt{0}}{-2} = \frac{22}{-2} = -11$
よって、 $x = -11$ だから、
グラフと x 軸との共有点の個数は $\boxed{1}$ 個である。

振り返り 今回の課題 学習後

(1) 2次関数 $y = -x^2 - 22x - 121$ のグラフと x 軸との共有点の個数を求めなさい。

解答 $484 - 4 \times (-1) \times (-121) = 484 - 484 = 0$
よって、判別式の値が 0 だから、
グラフと x 軸との共有点の個数は $\boxed{1}$ 個である。

生徒の学習前と学習後の記述

学習前と学習後の記述を見比べて、今回の活動でできるようにになったことは何ですか？

最初は、 x 軸との共有点の個数を求める時に、解の公式を使って求めるとは $\frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$ に代入して計算していたけれど、 $b^2 - 4ac$ の値に代入するだけで個数を求められる。

生徒の振り返り

実践NOTE 434

子どもの言葉を
育てていく楽しさ

浜松聴覚特別支援学校

教諭 鈴木 陽介

本校の小学部には、聴覚に障害のある30人の

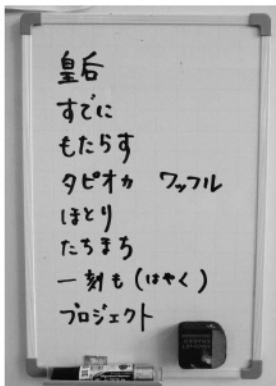
はほとんどできません。しかし、自分たちの力でできるようになった問題をもっと解いてみたいと思う生徒が増え、問題集を使い授業外で解く練習をしています。みんなが集まる授業ではみんなが集まる授業ではみんなが集まる授業外で取り組むようになり、授業内での生徒同士の会話も多くなりました。これからは生徒が主役になる授業を実践していきたいと考えています。



授業中の筆者

一つの言葉に
こだわって
子どもたちが「知らない

い言葉があった時には、すぐにホワイトボードにメモし、教室に掲示するようにしています。そしてメモした言葉は、その後、繰り返し投げ掛けるようにし、どんな意味の言葉なのか、どのような文脈で用いられる言葉なのか、確認する機会を設けています。学級に入りする教員や、保護者にもこれらの言葉を意図して使うようお願いしています。そうして確認した言葉が子どもの口から聞かれた時には、意欲的な姿勢をすぐに褒めるようにしています。



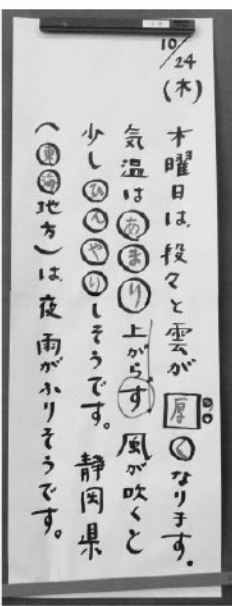
言葉をメモしたホワイトボード

新たな表現に触れる機会を

朝の会では、その日のニュースや天気を話題にするようにしています。社会的な知識を広げるとともに、多様な副詞的表現を見聞きすることを狙いとしています。時には、穴埋め式のニュースプリントを示します。プ

プリントには、子どもたちが聞き慣れない副詞的表現を意図的に盛り込むようにしています。表現を工夫する楽しさを感じさせたい子どもたちは、週末にあった出来事を日記にまとめています。そのときには、いろいろな条件を提示しています。例えば、「NGワード」です。子どもの日記に頻繁に出てくる「楽しかったです」「うれしかったです」「うれしかったです」を使わないように書いてみようとして投げ掛けています。すると、「顔が明るくなりまし

た。」にっこり笑顔になりました。笑顔を「楽しかった」など、表情や体の変化に着目した表現が付け加えられるようになり、子ども自身による表現の工夫が見られるようになってきました。その他にも、日記で使いたい言葉リストを示し、新たな言葉を進んで取り入れるための支援もしています。これら実践は、特別支援教育総合研究所の山本晃先生の実践を参考にしています。



穴埋め式のニュースプリント

グランシップ伝統芸能シリーズ
「国立劇場 歌舞伎鑑賞教室」に学校行事で参加しませんか？

広告

日本が誇る伝統芸能「歌舞伎」。グランシップでは中学生や高校生にも気軽に生の舞台に触れていただけるよう、毎年「国立劇場 歌舞伎鑑賞教室」を開催しています。是非、学校での芸術鑑賞行事としてご活用ください。2020年こそ、生徒のみなさんが生の舞台に触れ、日本の文化を自分の言葉で世界に伝えるきっかけにしませんか。

第一部:「解説 歌舞伎のみかた」 第二部:一流の歌舞伎役者による歌舞伎名作の鑑賞

日時:2020年6月23日(火) 午前の部11:00~/午後の部14:30~ ※公演時間は120~150分程度

会場:グランシップ 中ホール・大地



2019年度の様子

★中高生鑑賞プランをご利用の場合
●生徒1人あたり800円 ※1クラスにつき引率教員1名無料、それ以外の教員800円
●学校からグランシップまでの交通費を支援します(貸切バス、公共交通機関とも)
●歌舞伎の歴史などが掲載されている歌舞伎読本と公演プログラムを全員に配布します
●ご希望により、国立劇場職員による事前の歌舞伎レクチャーを学校で実施
※利用最低人数の制約はありません。小規模校、特別支援学校もお気軽にご利用ください。
※残席状況により、先着順で受付します。

お問い合わせ (公財)静岡県文化財団・グランシップ 企画制作グループ 担当:渡邊
TEL.054-203-5714 MAIL.info@granship.or.jp